

民有地自然保護区：アマゾン熱帯林の荒地回復における RPPN の役割に関する調査報告書。IBAMA-JICA, pp. 20. WRI (1986) World Resources 1986. World Resources Institute and the International Institute for Environment and Development, New York : Basic Books.

図書紹介

◎熱帯・亜熱帯林木種子の取り扱い指針 (Lars Schmidt, 2000 : Guide to Handling of Tropical and Subtropical Forest Seed. Danida Forest Seed Centre, Humlebaek, Denmark, B5 版, 511 pp. Danida 林木種子センターから無料で入手できる)

熱帯造林の進展に伴って、植栽樹種が多様化し、これまで馴染みのなかった樹種が取り扱われる機会がふえ、まずは種子の取り扱いについての情報がこれまでもまして必要とされるようになった。そのような状況に対応するため、1985年、DANIDAの種子センター(DFSC)はFAOと協力してA Guide to Forest Seed Handling—with special reference to the tropics (compiled by W.L. Willan)を刊行した。これは英語版であるが、その後、仏語版、西語版も刊行され、熱帯造林の現場で広く利用されてきた。はじめの英語版が出されてからすでに15年が経ち、この間に新しい発見や経験が蓄積されてきた。それらを組み入れて全面的に書き改められたのが本書である。内容は、1章：緒論、2章：種子の生物学、発達、生態学、3章：種子採取の計画と準備、4章：種子の採取、5章：採取から調製までの果実と種子の取り扱い、6章：種子の調製、7章：種子防疫とそのための処理、8章：種子の貯蔵、9章：休眠と前処理、10章：発芽と苗木の育成、11章：種子の検査、12章：種子の取り扱いの遺伝的意味づけ、13章：共生微生物の管理、14章：種子関連書類、15章：林木種子の売買と輸送、の15章に、用語解説がつけられている。DFSC所長B. Ditlevsen氏の序文によると、本書は各種の項目についての一般的な指針書で、樹種ごとの具体的な情報は、本センターが各地のプロジェクトと共同して制作している樹種別のSeed Leaflet(A4, 各2pp., 既刊50種)に収録されている。なお著者Schmidt氏は、DFSCの研究者であるが、現在はIndochina Tree Seed Programmeの技術アドバイザーとしてベトナムのハノイで活動している。

(浅川澄彦)